

Nーバスの利用実態調査の概要

1. 背景

Nータク（定額乗合タクシー）の本格運行を踏まえたNーバスの運行計画見直し計画立案の基礎データとするため、Nーバスについて以下の4つの調査を行う。

【調査項目】

- ① OD調査
- ② 利用者アンケート調査
- ③ 利用者ヒアリング調査
- ④ Nーバスに関する市民懇談会の開催

2. OD調査

現在運行しているNーバス利用者の利用実態を把握するため、調査を実施する。

(1) 実施時期

- ・ 9月（定額乗合タクシーの実証実験前）
（平日と休日の各1日の計2日間）

(2) 調査方法

- ・ 調査員が車内に乗車し、調査カードを利用者の乗車時に配布し、降車時に回収

(3) 把握する内容

① 基本的な把握事項

- ・ 乗車バス停、降車バス停
- ・ 乗継ぐNーバス路線
- ・ 利用した便
- ・ 降車した後の行先

② 追加的な把握事項(案)

OD調査としての基本的な把握事項に加えて、乗合タクシーとの役割分担も見据え、定額乗合タクシー利用対象の該当有無を把握できる設問を追加する。

- ・ 性別、年齢
- ・ 利用頻度
- ・ 市内の自宅から最寄りバス停までの所要時間
- ・ 最寄りバス停までの徒歩移動の困難度合い
- ・ 運転免許証返納の有無

3. 利用者アンケート調査

OD調査の簡易アンケートでは把握できない利用実態や、利用意識を把握するため、利用者アンケート調査を実施する。

(1) 実施時期

- ・ OD調査と同日に実施（平日と休日の各1日の計2日間）

(2) 調査方法

- ・ 調査員が車内に乗車し、アンケート調査票を利用者の乗車時に配布し、後日郵送回収

(3) 把握する内容

① 基本的な把握事項

- ・ 利用目的、利用頻度、目的地
- ・ 乗降バス停、乗継交通手段、乗車時刻
- ・ 往復利用の状況
- ・ 利用満足度
- ・ 基本属性

② 見直しを見据えた把握事項(案)

基本的な把握事項に加えて、持続可能性の確保と、乗合タクシーとの役割分担を見据え、Nーバスの値上げに対する意識や乗合タクシーの利用意向が把握できる設問を追加する。

【値上げについて】

- ・ 値上げ額の許容範囲や値上げによる利用の変化の見込み 等

【定額乗合タクシーについて】

- ・ 乗合タクシー実証実験の認知度や本格運行後の利用意向 等

4. 利用者ヒアリング調査

Nーバスの路線及び乗継計画の見直しや定額乗合タクシーに関する検討の基礎データとするため、Nーバスの利用者が多い主要バス停におけるバス利用者に対し、具体的な行先や徒歩移動の困難さなどの利用者特性を把握する。

(1) 実施時期

- ・OD調査と同日に実施（平日の1日のみ）

(2) 調査対象バス停

- ・市役所、藤が丘、愛知医大、長久手古戦場駅、福祉の家（5箇所）

(3) 調査方法

- ・対象バス停に調査員を配置し、乗降客に対しヒアリングを実施

(4) 把握する内容(案)

なるべく多くの方にヒアリングを行うため、設問は最小限とし、Nーバスの乗継計画の見直しや、定額乗合タクシーの利用対象を把握する。

- ・年齢
- ・調査対象バス停周辺の行先
- ・乗り継ぐ路線または利用交通手段、乗り継ぐ先の行先
- ・最寄りバス停までの徒歩移動の困難度合い

5. Nーバスに関する市民懇談会の開催

利用者・市民目線のNーバスの課題・問題点を把握し、見直しの参考とするため、市民懇談会を開催する。

(1) 実施時期

- ・9～10月

(2) 開催単位

- ・市内6つの小学校区ごと（各小学校区1回の開催）

(3) 意見の把握方法

- ・ワークショップ形式

(4) 把握する内容(案)

- ・Nーバスの良し悪し
- ・Nーバスを良くするためのアイデア